



アルプラザ前のバス停

**ダンプカーや影響対策を
砕石事業等の影響対策を**

西畑 利彦 議員
(共産党)

○ 一休ヶ丘では、ダンプカーの通行や近隣の砕石事業所などの影響で窓も開けられない時もある。市は事態を把握し、対策を講じてきたか。

〔建設部長〕 市民からの苦情があれば、状況を確認し、事業者に要請や指導をしている。

○ 現在の条例では住民を守る項目が抜けている。実態を捉えて対策をすべき。

〔経済環境部長〕 条例では、日々の進捗状況の報告も規定されている。苦情があれば、立ち入り確認も行い、訪問指導を繰り返す。府とも連携して指導していく。

○ 3月定例会では、ごみの分別や粗大ごみ・持込ごみの有料化など、住民が全く知らない中での条例改正が行われた。理解と協力を得るため

に説明会をどのように行つか。また、ごみ量縮減のために製造販売事業者への働きかけは、手数料の減免措置と持込ごみの特例措置は。

〔経済環境部長〕 各区、自治会での説明会や、広域的説明会を日曜日や夜間に3会場を実施する予定。また、要望により個別の説明会も実施する。事業者には、全国都市清掃会議で要請している。減免および特例措置は、生活保護世帯が4割減免、自治会等地域清掃に伴う持込を無料とする。

○ 一休ヶ丘からの買い物など、利便性向上のためにアルプラザ前のバス停を利用してきめるように検討できないか。

〔建設部長〕 課題の1つであり「バス交通等検証委員会」で、今後検討していきたい。



本市の地域防災計画

**熊本地震 防災計画見直しを
ふまえて**

青木 綱次郎 議員
(共産党)

○ 熊本地震は1週間地震度5弱以上の地震が17回発生した。避難者数も一時18万人を超え、5万人が10日間にわたり避難する事態となった。政府の「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」では、避難者のプライバシーや清潔さの確保、温かく栄養バランスのとれた食事の提供など、避難所の生活環境向上と、避難所外にいる避難者支援(情報提供や物資の支給など)の必要性が打ち出されている。熊本地震の教訓と政府の方針を踏まえ、防災計画を見直し、複数箇所避難所運営訓練を同時開催するなど充実させ、防災会議には住民代表が参加すべきでは。

〔危機管理監〕 熊本地震を参考にし、避難所における対応

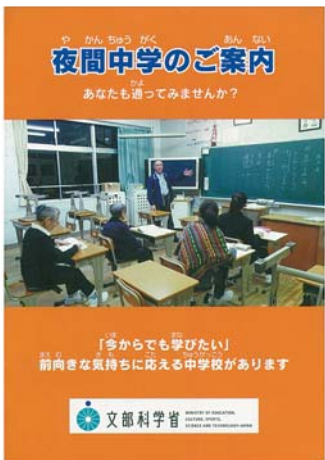
力の強化等と併せて、車の中へ避難した人への対応など、新たな課題についても検討していく。避難所運営訓練の複数同時開催は現状では困難。できる所から着実に実施していく。防災会議には、平成28年度から区・自治会の代表者として、市政協力員連絡協議会長を委員として委嘱した。

○ 3月、大津地震は高浜原発の運転差止め仮処分決定を下した。市長の見解は。

〔市長〕 地裁の判断であり、私の意見は差し控えたい。

○ 原発事故に備えた、避難住民受け入れ計画の進捗は。本市の住民避難計画策定を。

〔危機管理監〕 広域避難の受け入れ基本計画を策定した。避難計画には国段階での役割が重要で、動向を注視していく。



文部科学省が出している夜間中学のご案内

職員の不適切処理調査結果は

次田 典子 議員
(無党派)

○ 野外活動センターにおける不適切な会計処理の調査結果を明らかにせよ。第三者の調査に教育委員会はなぜ同席しないのか。当該職員を自宅待機とし降格もせず、給与を払い続けることは市民の理解が得られない。指定管理者制度に移行すべきでは。

〔教育部長〕 調査結果が発表は公表する。客観的調査のため同席していない。施設の運営形態は研究が必要と考える。

○ 不登校生たちの進路の1つとして、夜間中学やフリースクールを認める法案が国会に上程された。法案成立に先駆け実態を調査すべきだ。文科省の「夜間中学のご案内」には、希望があれば中学校卒業業者でも入学できる場合があり、在住先の市教委に問い合わせるよう書かれているが、どう対応するのか。

〔教育部長〕 夜間中学は国の調査結果を把握しており、フリースクールは学籍管理上で一定把握している。

〔教育長〕 夜間中学に対する各市町村の理解が得られておらず、対応は難しいが、引き続き努力はしていきたい。

○ 枚方市のごみ焼却広域化をもっと市民に説明すべきだ。施設を本市に建設することによる健康や環境への影響、安全性について、市の考えは。人件費や土地購入費等を含めればコスト面でも単独炉が勝るのでは。広域化を選択した根拠は。

〔経済環境部長〕 ごみ減量化推進審議会の検討でも、広域処理の優位性が確認された。



下水管直結のマンホールトイレが整備されている公園(さくらの丘公園)

マンホール 避難所に拡充を

櫻井 立志 議員
(公明党)

○ 熊本地震の際に、車中泊被災者が「エコノミー症候群」を発症するケースが多く見られた。本市における避難所の整備や被災者の健康を守るため、避難所運営マニュアル等の見直しが必要では。

〔危機管理監〕 車中泊避難者の十分な把握と情報収集を図り、物資の支援、保健師等による巡回健康指導に努めたい。今後、府の動向を注視し、地域防災計画や避難所運営マニュアルの見直しを検討したい。

○ 避難所の整備として、衛生的で快適に使用できるマンホールトイレを、学校や都市公園に拡充すべきでは。

〔危機管理監〕 マンホールトイレは、避難所の衛生対策として重要な課題と考える。地震による水源や下水管の破損

など、環境衛生面も含め、今後、調査研究していきたい。

○ 中学生に「英検3級」の検定料を助成しては。

〔教育部長〕 英語教育推進モデル校として、田辺中学校の全学年で、英検I・B・Aという能力判定テストを実施。英語力の向上につながっている。

○ 子どもたちに、我がふるさと京田辺を知り、好きになってもらうため、「子ども京田辺検定」を実施しては。

〔教育部長〕 子どもたちに京田辺を知る機会を設けることは、大切であると考えます。実施するには多くの課題があり、今後の検討課題としたい。

○ 府道茶屋前交差点右折レーン設置の進捗状況は。

〔建設部長〕 府において、早期工事着手に向け進めている。